

春から新生活！！

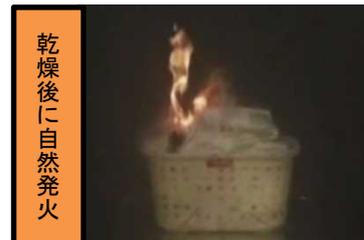
～電子レンジ、ヘアドライヤー、洗濯機、身近な家電の使い方に注意～

新年度の始まりと共に進学や転勤などで生活家電を購入する機会が増えますが、家電製品の取扱いには注意が必要です。中でも、毎日何気なく使っている電子レンジやヘアドライヤー及び洗濯機（乾燥機能付きのものを含む）は、暮らしに欠かせない身近な製品ですが、不注意や誤使用による事故も多く発生しています。新生活を始める前に、それぞれの製品について今一度正しい使い方を確認しましょう。

平成 24 年度から平成 28 年度の 5 年間に NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}の中で、電子レンジ、ヘアドライヤー及び洗濯機の事故は 453 件^{※2}（電子レンジ 211 件、ヘアドライヤー 75 件、洗濯機 167 件）ありました。このうち、電子レンジとヘアドライヤーは約 3 割が、洗濯機も 1 割以上が使用者の誤使用による事故です。また、電子レンジや洗濯機の事故では、譲り受けた中古品や賃貸据付けの長期使用製品などを使用して発生した事例があります。新生活のスタートを前に、事故の事例や事故防止のためのポイントを確認し、事故を未然に防ぎましょう。

■事故事例

- **電子レンジ**の庫内に食品かすなどの汚れが付着した状態で使用したため、食品かすが過熱され、炭化してスパークが発生した。【平成28（2016）年2月、製品破損】
- **ヘアドライヤー**の電源コードを本体に巻き付けて収納しており、プロテクター部分（本体とコードの付け根部分）を屈曲させてしまったため、半断線状態となり、異常発熱してショートし出火、手にやけどを負った。【平成27（2015）年9月、軽傷】
- **洗濯機**で油分が付着したキッチンマットを洗濯し、乾燥させ、洗濯槽内に放置していたところ、キッチンマットに残っていた油分の酸化熱により温度が上昇し、熱がこもる状態であったため自然発火し、洗濯機内部が焼損した。【平成27（2015）年5月、製品破損】
- **洗濯機**の洗濯タイマーが故障した状態のまま長時間運転されていたため、洗濯モーターが過熱して出火した。洗濯機は前の入居者が置いていったもので、使用者は故障を知りつつ使用を続けていた。【平成24（2012）年5月、拡大被害】



■注意するポイント

- ・電子レンジは庫内の汚れが発火の原因になるのでこまめに掃除する。
- ・ヘアドライヤーは電源コードを本体に巻き付けたり、ねじれた状態のまま使用しない。
- ・洗濯機は油分が付着した洗濯物は乾燥機能を使用しない。
- ・譲り受けるなどしたいわゆる中古品や、賃貸に据付けられているものは長期間使用されていて劣化している場合もあり、点検が必要。

■家電製品全体の注意点

- ・使用開始前に取扱説明書や本体表示の注意事項を確認する。
- ・電源コードに無理な力を加えたり、きつく束ねたりしない。
- ・異音や異臭など不具合を感じたら使用を中止する。
- ・リコール対象製品製品はすぐに使用を中止し、事業者や販売店に連絡を取る。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

1. 事故の発生状況

(1) 年度別 製品別 事故発生件数

平成24年度から平成28年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報の中で、電子レンジ、ヘアドライヤー及び洗濯機の事故について、図1に年度別の事故発生件数を示します。

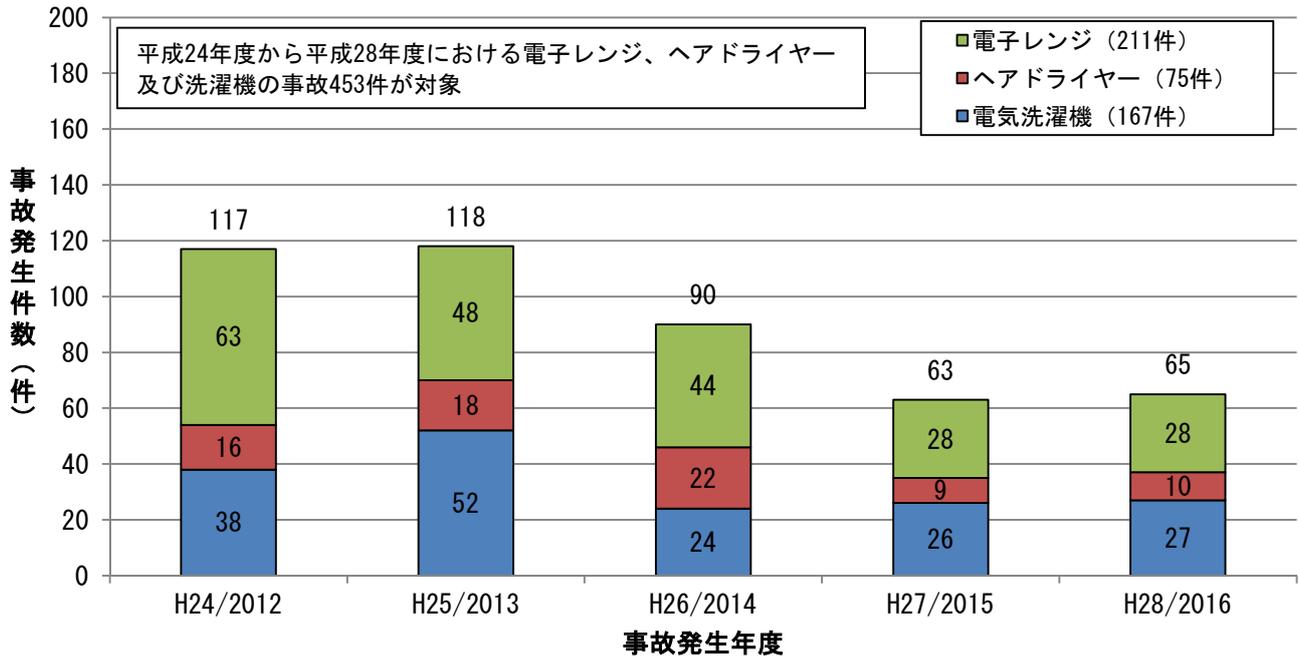


図1 年度別 事故発生件数

(2) 製品別 被害状況別 事故発生件数

図2に「製品別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

製品毎の被害状況を見ると、電子レンジの事故は全体の65% (137件) が火災事故です。火災による重傷事故も2件発生しています。一方、ヘアドライヤーでは軽傷事故が75件中30件 (40%) 発生しており、ヘアドライヤーの事故は人的被害に至る可能性が高くなっています。また、洗濯機では火災による死亡事故が1件、火災以外で重傷事故が2件発生しています。

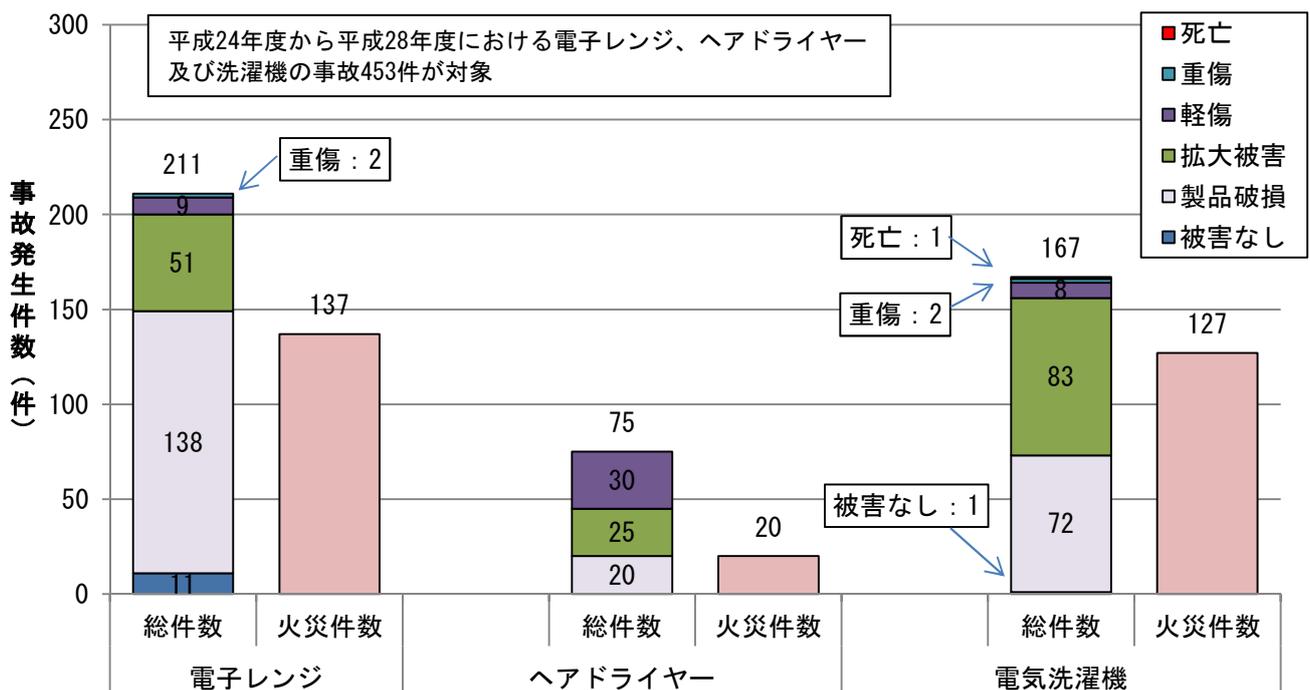


図2 製品別 被害状況別 事故発生件数

2. 各製品の事故の詳細

電子レンジ

(1) 事故原因区分別 事故発生件数

図3に電子レンジの事故211件のうち、調査が終了し、公表している202件の「事故原因区分別 事故発生件数」を示します。

事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 90件（44%）
 - 製品に起因しない事故（事故原因区分 E、F） 72件（36%）
 - 原因不明のもの（事故原因区分 G3を除く G） 40件（20%）
- の比率になっています。

電子レンジの事故は、「製品に起因する事故」が90件（44%）と最も多く、そのうち40件はリコール製品による事故です。（リコール情報の詳細は別紙4参照）

一方、誤使用による事故も多く発生しています。電子レンジの事故202件中59件（29%）が、庫内の汚れを放置したことによる事故など、誤使用によるものです。

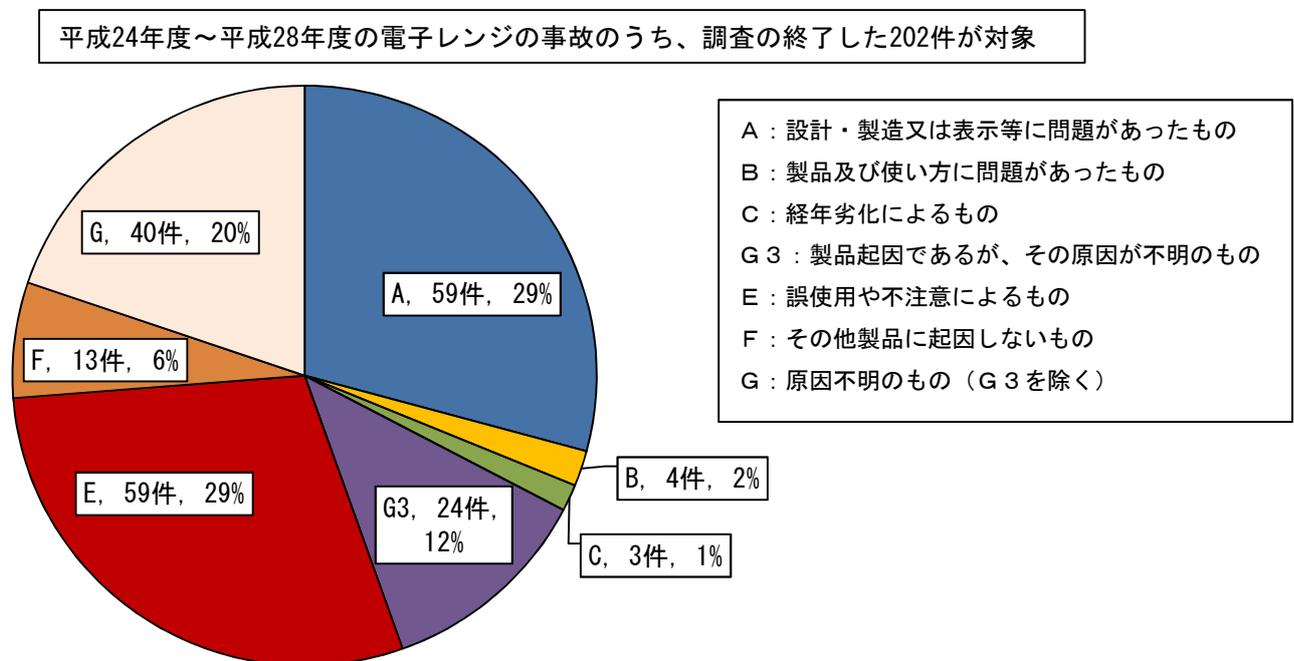


図3 事故原因区分別 事故発生件数

(2) 事件事象別 被害状況

以下表1に電子レンジの誤使用が疑われる事故における「事件事象別 被害状況」を、図4に「事件事象別 事故発生件数」を示します。電子レンジの誤使用が疑われる事故72件中40件(56%)が庫内に付着していた食品かすなどが加熱され炭化し、発熱・発火に至った清掃不良による事故です。その他、思わぬ事故として、過加熱による突沸^{※3}や、ゆで卵を電子レンジで加熱したため、ゆで卵が破裂して製品が破損したなど、取扱説明書に注意事項として記載されている事件事象も発生しています。電子レンジは火を使わない製品のため、火災への注意が薄れがちですが、72件中40件(56%)は火災に至っています。今一度正しい使い方を確認してください。

表1 電子レンジの誤使用が疑われる事故における 事件事象別 被害状況^{※4}

事故発生状況	被害状況		人的被害		物的被害		被害なし	総計
	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
庫内に付着していた食品かすなどが加熱され炭化し、発熱・発火した			1 (0) [1]	35 (0) [20]	4 (0) [0]	40 (0) [21]		
長時間の加熱により炭化し、スパークして発火した		1 (2) [1]	3 (0) [3]	4 (0) [3]	1 (0) [0]	9 (2) [7]		
アルミホイルやホーロー素材の製品などを使用したことによるスパーク			2 (0) [1]	2 (0) [0]		4 (0) [1]		
加熱のし過ぎにより過加熱状態となり、取り出した際の振動などで突沸した		2 (2) [0]				2 (2) [0]		
庫内を空にしたまま運転したため、部品にマイクロ波が集中し異常発熱した				2 (0) [2]		2 (0) [2]		
持ち運ぶ際に手を滑らせてけがを負った	1 (1) [0]					1 (1) [0]		
その他			2 (0) [2]	12 (0) [7]		14 (0) [9]		
総計	事故件数 被害者数 火災件数	1 (1) [0]	3 (4) [1]	8 (0) [7]	55 (0) [32]	5 (0) [0]	72 (5) [40]	

(※3) 静かに加熱されたために沸点を超えても沸騰していない液体が衝撃などをきっかけに突然激しい沸騰をする現象。

(※4) 平成30年2月28日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

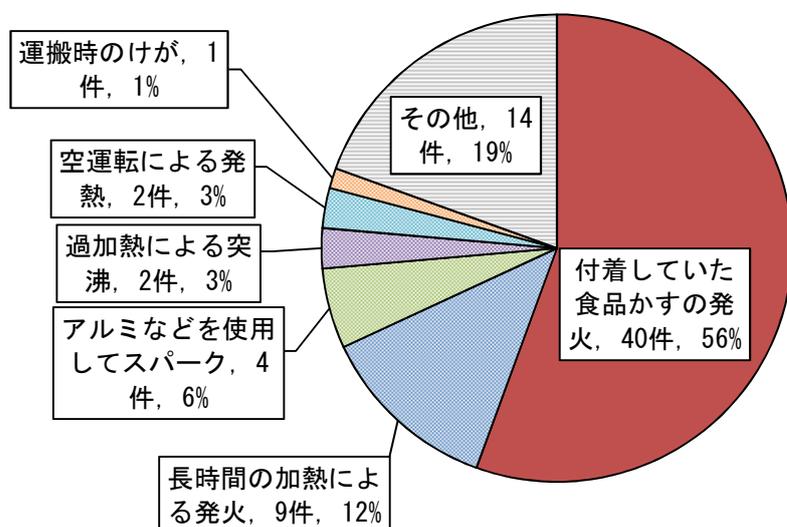


図4 事件事象別 事故発生件数

(3) 中古品による事故

電子レンジの事故の中には、譲り受けたものなど、いわゆる中古品を使用していて発生した事故も少なくありません。以下表2に中古品を使用していて発生した事故の事例を示します(事故発生の原因が不明なものを除く)。

長期使用による経年劣化の事故や誤った使用による事故が発生しています。また、リコール対象製品か否かも注意が必要です。中古品の場合、過去の使用状況や不具合の有無などの情報が無く、また取扱説明書がない場合も考えられ、誤った使い方による危害・損害につながるおそれがあります。事業者のホームページなどから情報を集め、正しい使い方を把握しましょう。異音や異臭などのわずかな異常も見逃さないようにしましょう。少しでも異常を感じたら使用を中止し、事業者などに確認するようにしましょう。

表2 電子レンジの中古品を使用していて発生した事故事例

電子レンジ
リコール製品のリコール事象によりスパークが発生し出火した。
経年劣化によりドアスイッチの接点が故障し異常発熱した。
庫内で濡れた靴を乾燥させるため、電子レンジで加熱したことにより、庫内で靴が発火し、樹脂製のドアや操作パネルに延焼した。

ヘアドライヤー

(1) 事故原因区分別 事故発生件数

図5にヘアドライヤーの事故75件のうち、調査が終了し、公表している74件の「事故原因区分別 事故発生件数」を示します。

事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 14件（19%）
 - 製品に起因しない事故（事故原因区分 E、F） 28件（38%）
 - 原因不明のもの（事故原因区分 G3を除く G） 32件（43%）
- の比率になっています。

ヘアドライヤーの事故は、原因不明のものを除けば「製品に起因しない事故」が28件（38%）と最も多く、「収納時に電源コードを本体に巻き付けていたため、電源コードが半断線し発火した事故」や「電源コードがねじれた状態で使用を続けたため、コードが断線し発火した事故」など、誤使用や不注意による事故が多く発生しています。

平成24年度～平成28年度のヘアドライヤーの事故のうち、調査の終了した74件が対象

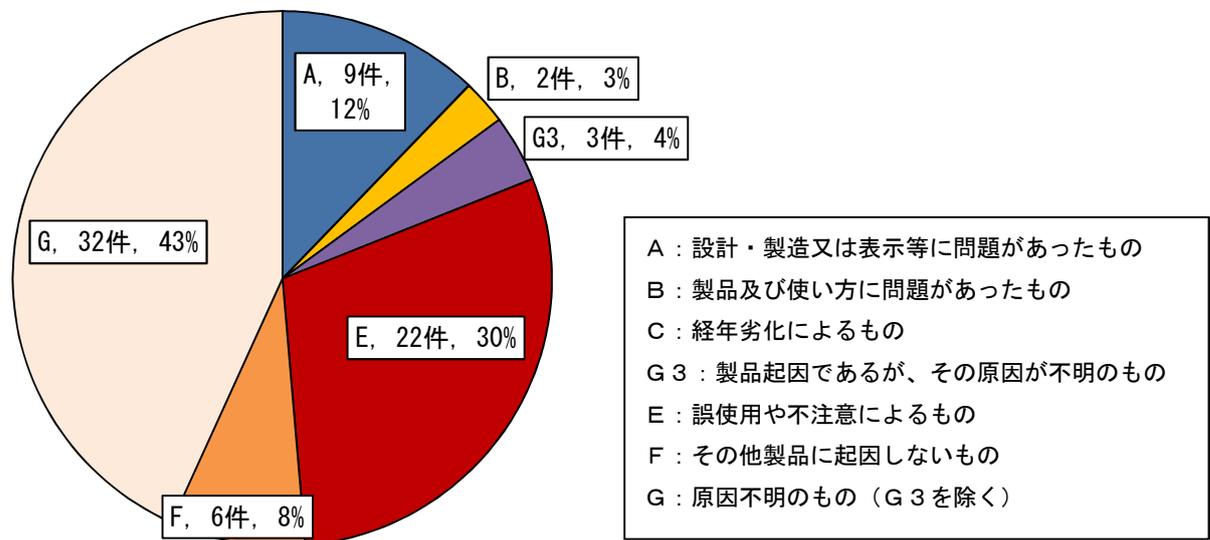


図5 事故原因区分別 事故発生件数

(2) 事故事象別 被害状況

以下表3にヘアドライヤーの誤使用が疑われる事故における「事故事象別 被害状況」を、図6に「事故事象別 事故発生件数」を示します。ヘアドライヤーの誤使用が疑われる事故の41件中35件(85%)が電源コードの断線による発火事故です。本体を左右に動かしながら使用することの多い製品のため、使用時に電源コードに負荷がかかります。また、電源コードを本体に巻き付けたり、きつく束ねて収納したりすることで、電源コードを傷付けている可能性があります。停電中にスイッチを入れた状態でコンセントに電源プラグを差したまま放置したために事故に至った事例もあります。使わない時にはコンセントから電源プラグを抜いてください。

また、手に持った状態で使用者の顔の近くで使われる製品のため、電源コードが断線し火花が発生した際に、やけどなどの人的被害に至る場合が多く、注意が必要です。

表3 ヘアドライヤーの誤使用が疑われる事故における 事故事象別 被害状況※4

事故発生状況	被害状況		人的被害		物的被害		被害なし	総計
	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
電源コードが繰り返し引っぱり、折り曲げなどで断線・ショートし発火した		18 (18) [0]	9 (0) [5]	8 (0) [1]				35 (18) [6]
清掃不足により内部にほこりがたまり、使用時にほこりがヒーターに触れて着火した		2 (1) [2]						2 (1) [2]
電源プラグが接触不良を起こし、異常発熱した		1 (1) [0]						1 (1) [0]
停電中にドライヤーのスイッチを入れたまま放置したため、復旧した際に周囲の可燃物を加熱し発火した			1 (0) [1]					1 (0) [1]
外からの衝撃で内部部品が外れ、電機部品に接触したためショートし異常発熱した				1 (0) [1]				1 (0) [1]
靴を乾燥させるために靴にドライヤーの吹出口を差し入れたまま放置したため、こもった熱により吹出口が溶損した				1 (0) [0]				1 (0) [0]
総計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	21 (20) [2]	10 (0) [6]	10 (0) [2]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	41 (20) [10]

(※4) 平成30年2月28日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

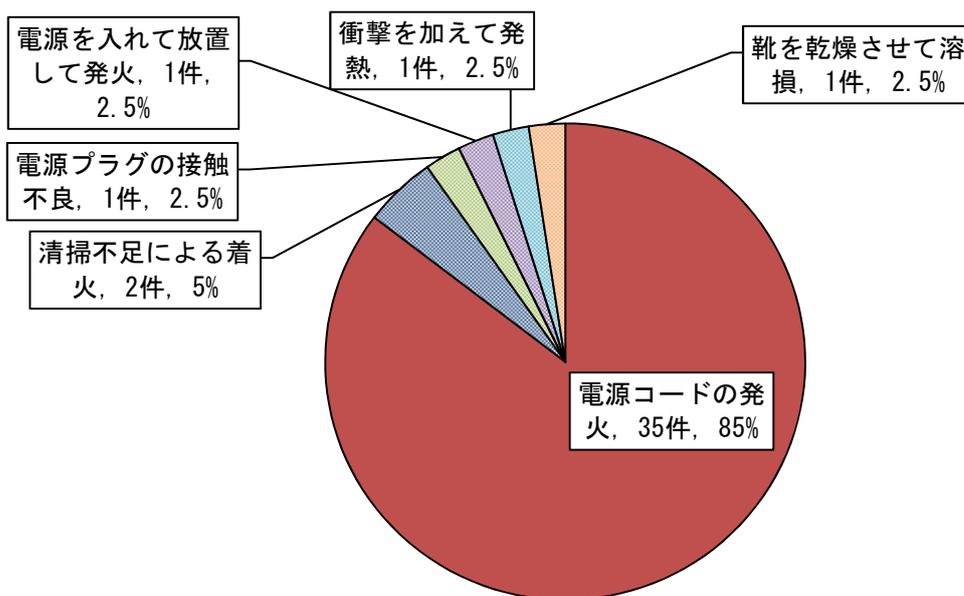


図6 事故事象別 事故発生件数

洗濯機

(1) 事故原因区分別 事故発生件数

図7に洗濯機の事故167件のうち、調査が終了し、公表している162件の「事故原因区分別 事故発生件数」を示します。

事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 92件（57%）
 - 製品に起因しない事故（事故原因区分 E、F） 36件（22%）
 - 原因不明のもの（事故原因区分 G3を除く G） 34件（21%）
- の比率になっています。

洗濯機の事故は、「製品に起因する事故」が92件（57%）と最も多く、そのうち55件はリコール製品による事故です。（リコール情報の詳細は別紙4参照）「内部配線が振動や洗剤で劣化して発火する事故」や「電気部品が発煙・破裂する事故」などが発生しています。リコール情報を確認しましょう。

誤使用事故の中では乾燥機能付き洗濯機で「衣類などに付着した油分の自然発火による事故」が多く確認されます。

平成24年度～平成28年度の洗濯機の事故のうち、調査の終了した162件が対象

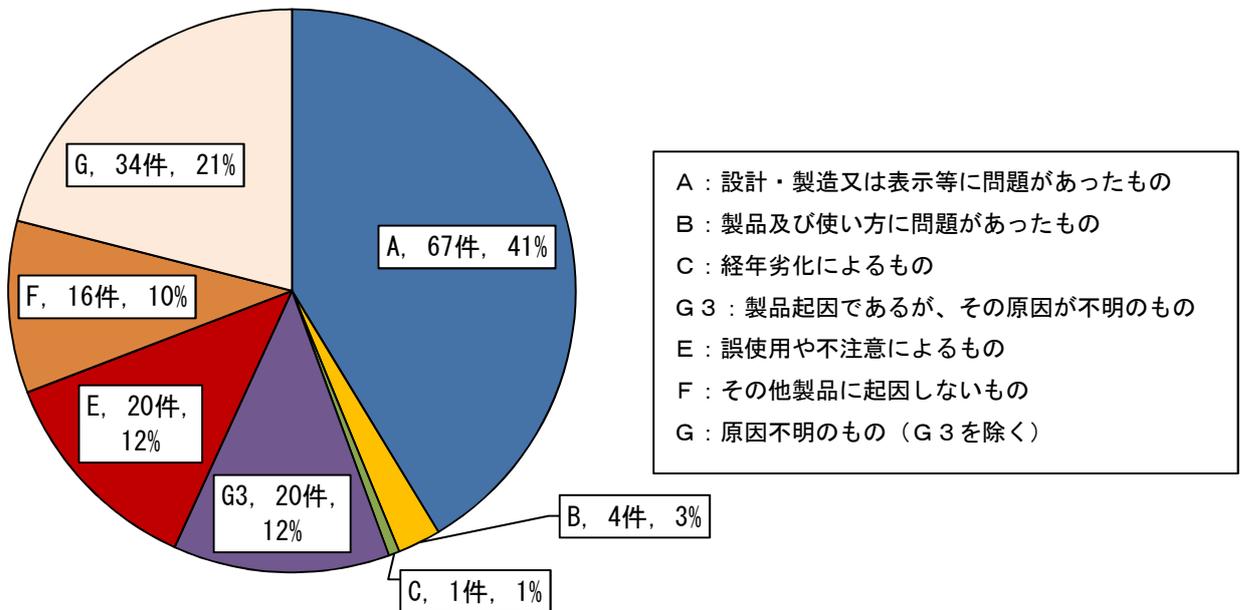


図7 事故原因区分別 事故発生件数

(2) 事件事象別 被害状況

以下表4に洗濯機の誤使用が疑われる事故における「事件事象別 被害状況」を、図8に「事件事象別 事故発生件数」を示します。洗濯機の誤使用が疑われる事故は28件中13件(45%)が衣類などに付着した油分の乾燥による自然発火の事故です。件数は少ないですが、「防水性の衣類など、脱水を禁止されている洗濯物を脱水したことで洗濯機が転倒」や「脱水の回転中に手を入れ、巻き込まれ負傷」なども発生しているため、油断や慣れにも注意が必要です。

表4 洗濯機の誤使用が疑われる事故における 事件事象別 被害状況※4

事故発生状況	被害状況		人的被害		物的被害		被害なし	総計
	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
衣類などに付着した油分が洗濯後も残存しており、乾燥機能を使用したために酸化熱が発生し自然発火した			9 (0) [6]	4 (0) [3]				13 (0) [9]
故障状態で使用を続けたために部品(モーターなど)に負荷がかかり異常発熱し発火した			3 (0) [3]					3 (0) [3]
配線のねじり接続など不適切な修理(改造)を行ったために発火した			1 (0) [1]	2 (0) [2]				3 (0) [3]
電源コードが繰り返しの引っ張り、折り曲げなどで断線・ショートし発火した			2 (0) [2]					2 (0) [2]
電源プラグが接触不良を起こし、異常発熱したことで電源プラグの栓刃間がショートし、発火した			1 (0) [1]	1 (0) [0]				2 (0) [1]
防水性の衣類など、脱水を禁止されている洗濯物を脱水したことによる洗濯機のバランスの崩れ			1 (0) [0]	1 (0) [0]				2 (0) [0]
脱水の回転中に手を入れ、巻き込まれ負傷した	1 (1) [0]							1 (1) [0]
ふたに異物をかみ込んだまま使用したで洗濯槽に負荷がかかり、変形した			1 (0) [0]					1 (0) [0]
綿の入ったクッションを洗濯・乾燥したため、分離した綿の一部がヒーター部分に接触し、発火した			1 (0) [0]					1 (0) [0]
総計			1 (1) [0]	0 (0) [0]	19 (0) [13]	8 (0) [5]	0 (0) [0]	28 (1) [18]

(※4) 平成30年2月28日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

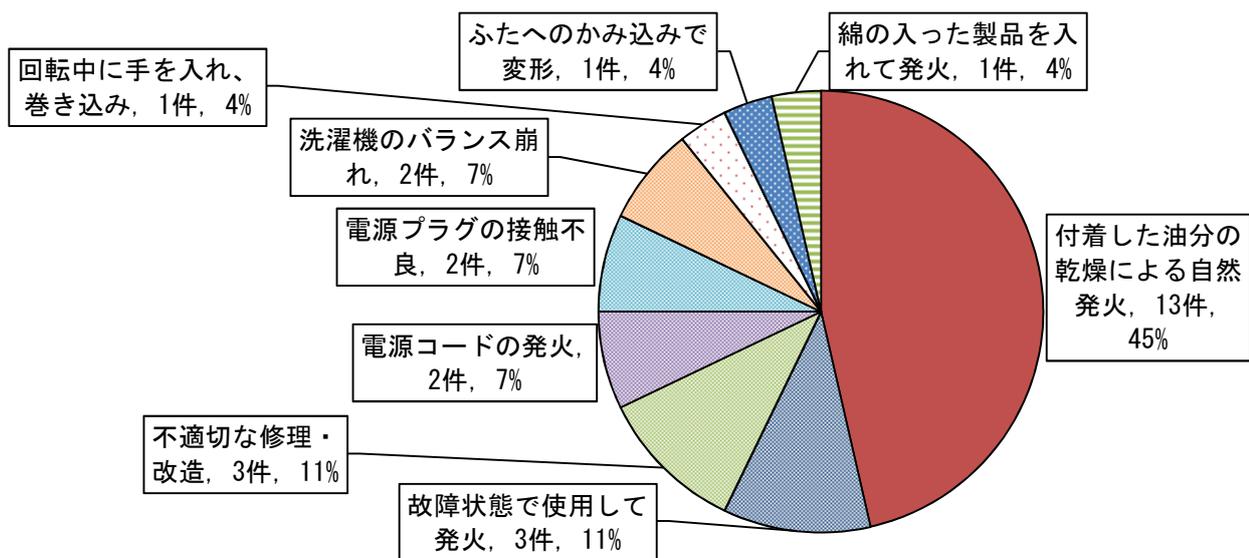


図8 事件事象別 事故発生件数

(3) 中古品による事故

洗濯機の事故の中には、譲り受けたものなど、いわゆる中古品を使用していて発生した事故も少なくありません。以下表5に中古品を使用していて発生した事故の事例を示します（事故発生の原因が不明なものを除く）。

故障状態と気付かずに使用して事故に至ったケースや長期使用による経年劣化の事故があります。また、リコール対象製品か否かも注意が必要です。中古品は過去の使用状況や不具合の有無などの情報や取扱説明書がない場合も考えられ、誤った使い方による危害・損害につながるおそれがあります。事業者のホームページなどから情報を集め、正しい使い方を把握し、異音や異臭などのわずかな異常も見逃さないようにしましょう。少しでも異常を感じたら使用を中止し、事業者などに確認するようにしましょう。

表5 洗濯機の中古品を使用していて発生した事故事例

電気洗濯機
リコール製品のリコール事象により、部品の破裂や焼損が発生した。
前の所有者が置いていった製品は故障しており、その状態のまま使用したため出火した。
人から譲り受け、通算15年使用中で、配線が劣化し、出火した。
安全装置を取り外す改造が行われており、ヒーターが異常発熱した際、保護機能が作動せず、焼損した。
モーター用コンデンサー内の銅線接続部に不具合があったため、異常発熱及びスパークが発生し、コンデンサーの熔融物が噴出するとともに発煙。

3. 誤使用により発生した事故の事例

電子レンジ

(イ) 付着した食品かすの発火事故

平成 28 (2016) 年 2 月 12 日 (兵庫県、年齢・性別不明、製品破損)

【事故の内容】

電子レンジを使用中、庫内から出火した。

【事故の原因】

庫内に食品かすなどの汚れが付着した状態で使用したため、食品かすが過熱され、炭化して焼損したものと考えられる。

(ロ) 突沸による事故

平成 25 (2013) 年 1 月 20 日 (東京都、50 歳代・女性、軽傷)

【事故の内容】

電子レンジで温めた食品を庫内から取り出したところ、内容物が飛び出し、顔などにやけどを負った。

【事故の原因】

粘性のある食品を長時間加熱したため、過加熱状態となり、突沸が生じたものと考えられる。

電子レンジの気を付けるポイント

○庫内をこまめに掃除する

電子レンジの庫内はこまめに掃除を行ってください。庫内やドアに食品かすが付着したまま使用すると、炭化してスパークが発生し発煙・発火するおそれがあります。油汚れを放置してスパークが発生し電子レンジの庫内に穴が空いて、製品内部に食品かすが堆積して発火した事例もあるため注意が必要です。



(写真) 電子レンジ庫内が汚れている様子



(写真) 電子レンジの庫内に付着した汚れが炭化して発火

○庫内で発煙・発火した場合は、電源プラグを抜き、扉を開けない

庫内で発煙・発火したときは、電源プラグを抜いて、火が消えるまでドアを開けないでください。ドアを開けると空気が入り、炎が大きくなるため危険です。火が収まるまで様子を見ましょう。またドアのガラスは高温になっているため、水をかけないでください。急激にガラスの温度が下がることで体積が縮んでガラスが割れ、けがをするおそれがあります。

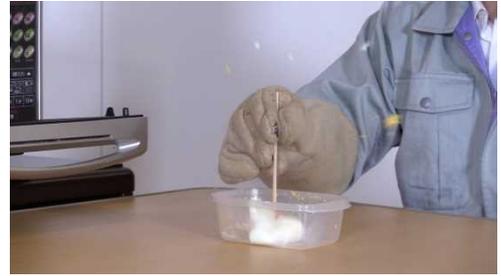
○突沸（とっぷつ）に注意する

液体や粘性のあるもの（カレー、シチュー、みそ汁など）を電子レンジで加熱する際、静かに温度が上昇することにより、取り出した際の振動などで突然沸騰する突沸と呼ばれる現象が起きる場合があります。事前によく混ぜたり、短時間の加熱を繰り返すことで突沸を防ぐことができます。

○加熱時間や加熱対象に注意する

食品などを電子レンジで加熱しすぎると炭化し、発火に至る場合があります。食品の様子を見ながら少しずつ加熱することでこれらの事故を防ぐことができます。

ゆで卵などの使用を禁止されている食品は加熱した場合、内部の蒸気が抜けられず圧力が上昇し、破裂に至り、やけどを負うことがあります。電子レンジに使用可能なものを事前に確認しましょう。



ヘアドライヤー

(ハ) 電源コードの断線による事故

平成 27 (2015) 年 9 月 17 日 (埼玉県、40 歳代・女性、軽傷)

【事故の内容】

使用中のヘアドライヤーから異音が生じ、火花が出て衣服が焦げ、手にやけどを負った。

【事故の原因】

使用者は保管時に電源コードを本体に巻き付けた状態で収納しており、プロテクター部分(本体とコードの付け根部分)を屈曲させてしまったため、半断線状態となり、異常発熱してショートし、出火したものと考えられる。



プロテクター部分

(ニ) 清掃不足による事故

平成 26 (2014) 年 6 月 18 日 (神奈川県、年齢・性別不明、軽傷)

【事故の内容】

使用中のヘアドライヤーから出火し、衣服が焦げてやけどを負った。

【事故の原因】

内部にほこりが堆積していたため、使用中に加熱したヒーターに着火して吹出口から飛び出したものと考えられる。

ヘアドライヤーの気を付けるポイント

○電源コードは丁寧に扱う

電源コードを屈曲させたり、本体にきつく巻き付けたりといった外部から大きな力が加わる使い方をすると、電源コードの芯線が断線して、異常発熱や発火の原因となるおそれがあります。(別紙3 電源コードの断線・ショートの仕組みを参照。)

<注意事項>

- ヘアドライヤーを使用しないときは、電源コードは丸く円を描くようにゆるく束ねる。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜く。
- 電源の入り切りが不安定なものは使用しない。
- コードが手で持てないほど発熱している場合は内部で断線している可能性があるため、使用を中止する。



○ヘアドライヤーの吸込口や吹出口はこまめに掃除する

内部のヒーターにホコリや細かなゴミなどが接触して着火、吹出口から飛び出すこともあるため、製品及び製品周囲はきれいに保ってください。



○吹出口や吸込口に髪を近づけ過ぎない

吹出口は高温になっているため、近づけ過ぎると焦げややけどのおそれがあります。また、吸込口に髪を近づけると髪の毛がヘアドライヤー本体内部に吸い込まれてしまう可能性があるため、製品との距離に注意してください。

洗濯機

(ホ) 油の酸化熱による自然発火の事故

平成 27 (2015) 年 5 月 16 日 (徳島県、40 歳代・女性、製品破損)

【事故の内容】

洗濯機の内部が焼損し、洗濯物の一部が焦げた。

【事故の原因】

油分が付着したキッチンマットを洗濯し、乾燥させ、洗濯槽内に放置していたところ、キッチンマットに残っていた油分の酸化熱により自然発火し、洗濯機内部が焼損したものと考えられる。



(ヘ) 中古の故障品を使い続けた事故

平成 24 (2012) 年 5 月 27 日 (広島県、年齢・性別不明、拡大被害)

【事故の内容】

洗濯機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

洗濯機の洗濯タイマーが故障した状態のまま長時間運転されていたため、洗濯モーターが過熱して出火に至ったものと推定される。事故品の洗濯機は前の入居者が置いていったもので、使用者は故障を知りつつ使用を続けていた。

洗濯機の気を付けるポイント

○油分の付着したものには乾燥機能を使わない

美容オイル、食用油、動物油及び塗料などが付着したタオルや衣類は洗濯した後でも乾燥機能で乾燥するのはやめてください。油分が残留していると、酸化熱で自然発火に至る可能性があります。



再現
実験

○洗濯物の種類に気を付ける

洗濯機の容量を超えて洗濯を行わないでください。また、取扱説明書で防水性の衣類などを洗濯することを禁止している製品もあります。それらを洗濯した場合、洗濯、脱水時に洗濯機が大きく振動し、洗濯機本体の破損や周囲に被害を与えるおそれがあります。

○回転が止まっていることを確認する

槽が完全に停止していない状態でふたを開けて手を入れると、回転している衣類に手が巻き込まれて負傷するおそれがあります。ゆっくりした回転でも危険です。長期間使用した製品では、ブレーキが劣化して回転が停止するまでに時間がかかる場合があります。ふたを開けてもしばらく回転が止まらない場合には故障しているおそれがありますので、使用を中止してください。



リコール製品による事故を防ぐために

電子レンジ、ヘアドライヤー及び洗濯機の事故 453 件のうち、リコール製品による事故は 99 件ありました。

リコール情報が新聞やダイレクトメールなどで繰り返し告知されているものもあれば、事業者のホームページのみにリコール情報が掲載されているものもあります。

お持ちの製品がリコール対象かどうかを確認していただき、事故を未然に防ぎましょう。

リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者に相談してください。

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造事業者、販売事業者などの事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

リコール情報について、別紙 4 に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>
検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」などの単語で検索してください。



お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 新井 勝己
担当者 穴井、酒井、向井

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617

事故原因区分について

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表1 事故原因区分一覧

	区分 記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

電子レンジ、ヘアドライヤー及び洗濯機の事故における死亡・重傷事故の概要について

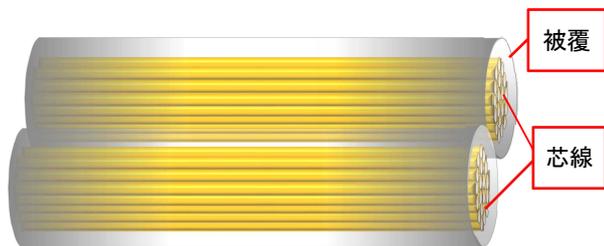
以下に参考情報として、死亡・重傷事故の概要を示します。

() 内は事故原因区分です。(別紙 1「事故原因区分について」参照)

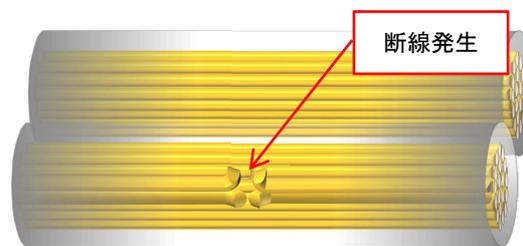
no	発生日	品名	発生場所	被害者	使用期間	事故内容(原因区分)
1	20140123	洗濯機	群馬県	80 歳代・男性 死亡	約 9 年	建物を半焼する火災が発生し、1 名が死亡し、2 名が負傷。当該製品は事故当時運転されておらず、残存した電気部品には出火した痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品もあることから、製品起因か否かを含め、原因の特定には至らなかった。(G)
2	20120402	洗濯機	佐賀県	70 歳代・女性 重傷	2 年	衣類を取り出すため洗濯機ふたを開けたところ、内ふたが外れ、足に落下し、負傷。ふたのネジの締め付けが不十分だったため、脱落した。締め付け不良に至った経緯は不明である。(G3)
3	20120610	洗濯機	神奈川県	年齢不明・女性 重傷	18 年	洗濯機を使用中、回転している脱水槽に右手を入れ、洗濯物が指に絡まり負傷した。使用者が洗濯槽の停止しないうちに手を入れたため事故に至った。(E)
4	20130311	電子レンジ	山梨県	30 歳代・女性 重傷	10 年	電子レンジを移動させようと持ち上げたところ、右手を負傷した。運搬時に底面のエッジ部に強く接触させたため、バランスを崩して手を滑らせた際に裂傷を負った。(F)
5	20170301	電子レンジ	香川県	50 歳代・男性 重傷	約一ヶ月	電子レンジを使用中、当該製品のドアを開けて手を入れたところ、左手に火傷を負った。当該製品との因果関係を含め、現在、原因を調査中。(H)

電源コードの断線・ショートの様子

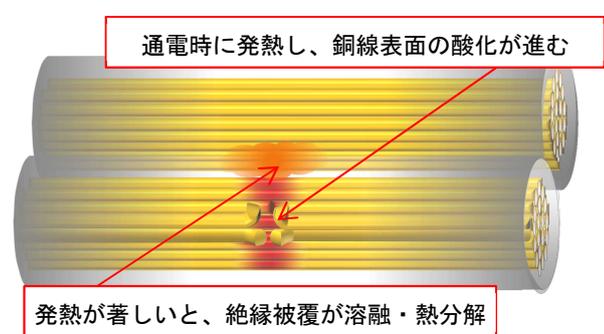
電源コードが断線してショートする過程を次の①～④で示します。



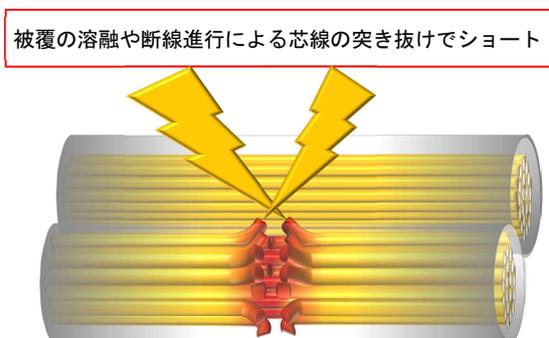
- ① 正常時の電源コード内部の様子
(※) コードの被覆部を透明にして、内部の芯線を見えるようにしたもの。



- ② 使用中の屈曲や引っ張りなどによって芯線の一部が断線した状態（断線初期）
このまま使用を続け、さらに外から力が加わると、断線箇所や断線本数が増える。



- ③ 芯線が部分的に断線した電源コードに電流が流れると、断線部分では電流の通り道が細くなっているため、その部分で温度が上昇し、樹脂製の絶縁被覆が熱分解される。



- ④ 異常発熱によって、絶縁被覆が破壊され、そこに過負荷やコードを束ねて使用していたなどの条件が重なると、異極間の芯線が接触してショートする可能性がある。

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2003/9/2 2006/4/17 2008/3/12 2008/11/25	電子レンジ	岩谷産業株式会社 【法人番号： 8120001077357】	<p>[型式・機種等] イワタニ単機能電子レンジ IM-574 (97・98・99年製) IM-574S (98・99年製) IM-575 (98・99・2000年製) IM-575S (99・2000年製)</p> <p>[販売等期間] 1997年03月～2000年10月</p> <p>[問い合わせ先等] フリーダイヤル：0120-00-9930 受付時間：9:00～17:00 (土・日・祝日は除く) ホームページ：http://www.iwatani.co.jp/</p>
2007/5/31 2008/11/19 2009/10/21	電子レンジ	パナソニック株式会社 (旧松下電器産業株式会社) 【法人番号： 5120001158218】	<p>[型式・機種等] NE-A555、NE-A575、NE-AB50、NE-AC50、 NE-AC60、NE-AT66、NE-AT70、NE-AT80、 NE-OT1、NE-OT2、NE-P300、NE-P500</p> <p>[販売等期間] 1988年12月～1993年12月</p> <p>[問い合わせ先等] 電子レンジ市場対策室 ・フリーダイヤル：0120-871-682 受付時間：9:00～17:00 (土・日・祝日を除く) https://panasonic.co.jp/ap/info/important/product/index.htm</p>
2007/9/12	電子レンジ	小泉成器株式会社 【法人番号： 3120001079011】	<p>[型式・機種等] 単機能電子レンジ 1) KR D-0105 2) KR D-0106</p> <p>[販売等期間] 1) 1997年3月～1999年9月 (製造) 2) 1997年3月～2000年7月 (製造)</p> <p>[問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-551-494 受付時間：09:00～17:00 (土・日・祝日及び年末年始・夏期休業日を除く) http://www.koizumiseiki.co.jp/support/important/post.html</p>
2008/6/20 2008/10/10 2010/7/20 2012/4/20	オープンレンジ	三洋電機株式会社 (旧社名：三洋電機 機コンシューマエレクトロニクス株式会社) 【法人番号： 7010401012149】	<p>[型式・機種等] ●全数対象の機種 下記の機種は、本体前面右下または、右側面の機種名をご確認ください。 EMO-BC8 EMO-CH10 EMO-MVP7 EMO-SJ9 EMO-CH4 EMO-H40 EMO-S4 EMO-T5 EMO-CH5 EMO-H60 EMO-S5 EMO-T6 EMO-CH6 EMO-KDH1 EMO-S6 EMO-T7 EMO-CH7 EMO-ME5 EMO-S7 EMO-TH5 EMO-CH8 EMO-MVP5 EMO-S8 EMO-TH6 EMO-CH9 EMO-MVP6 EMO-S9 EMO-CH8FF※</p> <p>●製造番号により一部対象の機種 下記の機種は、本体右側面の機種名、製造番号をご確認ください。 EMO-CH3 (HW) 対象製造番号：023001～025000 EMO-S3 (HL) 対象製造番号：043501～051500 EMO-SH1 (H) 対象製造番号：006001～009000</p> <p>※ Francfrancブランドのオープンレンジ「EMO-CH8FF」は、同じく点検・修理させていただきます</p> <p>[製造期間] 2000年6月～2007年9月</p> <p>[問い合わせ先等] オープンレンジ相談室 ・フリーダイヤル：0120-34-1105 ・受付時間：9:00～17:00 (土・日・祝日は除く) http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080711.html</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2002/4/3 2004/4/4 2003/1/15 2004/1/26 2007/3/16	全自動洗濯機	シャープ株式会社 【法人番号： 8030001087992】	<p>[型式・機種等]</p> <p>(1) シャープ二槽式洗濯機 ES-50F1 ES-56GS</p> <p>(2) 小形全自動洗濯機 ○シャープ株式会社 ES-42DS、ES-DB42、ES-F4AUP、ES-JN42、ES-L42、ES-SL42Y2、ES-B43、ES-DS42、 ES-G42JN、ES-J42UP、ES-S4A、ES-YA42、ES-D42JN、ES-F4A、ES-H42、ES-K42、ES-SL42Y ○無印良品（株式会社 良品計画） ES-R42A</p> <p>[販売等期間]</p> <p>(1) 1998年6月～2007年2月 販売 (2) 1998年11月～1999年12月</p> <p>[社告等の内容]</p> <p>(1) 脱水用蓋スイッチから発煙・発火の恐れがあることが判明した。 (2) 当該製品において発煙・発火事故が発生したため2002年4月及び2004年1月に社告を実施し、事故防止に努めてきたがその後も事故が発生した。</p> <p>[対処方法]</p> <p>無料点検・修理</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>フリーダイヤル 0120-404660 受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後8時 日曜日・祝日 午前9時～午後6時 http://www.sharp.co.jp/support/announce/es50.html http://www.sharp.co.jp/support/announce/es42x.html</p>
2004/9/6 2005/4/18 2007/1/26 2008/2/26 2008/11/18 2009/9/18 2010/7/27 2011/6/14 2012/4/20 2012/10/5	ドラム式洗濯乾燥機	三洋電機株式会社 【法人番号： 7010401012149】	<p>[型式・機種等]</p> <p>AWD-A845Z AWD-B860Z AWD-U860Z AWD-S8260Z AWD-GT960Z AWD-S9260Z AWD-ST86Z AWD-X1 AWD-U1</p> <p>[製造時期]</p> <p>AWD-A845Z 2002年4月 ～ 2003年10月 AWD-B860Z 2003年6月 ～ 2004年11月 AWD-U860Z 2003年6月 ～ 2004年11月 AWD-S8260Z 2003年6月 ～ 2004年11月 AWD-GT960Z 2004年6月 ～ 2005年3月 AWD-S9260Z 2004年6月 ～ 2005年3月 AWD-X1 2004年1月 ～ 2004年12月 AWD-U1 2004年1月 ～ 2004年12月 AWD-ST86Z 2004年11月 ～ 2006年1月</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>洗濯乾燥機相談室 ・フリーダイヤル：0120-34-3226 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日は除く) https://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/090918-01.html</p>
2005/12/21	洗濯乾燥機	日立アプライアンス株式会社（旧日立ホーム＆ライフソリューション株式会社）【法人番号：8010401057011】	<p>[型式・機種等]</p> <p>NW-D8AX NW-CSD80A NW-D8BX NW-D6BX</p> <p>[販売等期間]</p> <p>2001年（平成13年）8月～2002年（平成14年）12月 製造</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>フリーダイヤル 0120-667-220 受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く） http://kadenfan.hitachi.co.jp/nw-db/</p>
2007/10/15 2008/1/8	全自動洗濯機	サムスン電子ジャパン株式会社（旧日本サムスン株式会社）【法人番号：7010001119880】	<p>[型式・機種等]</p> <p>全自動洗濯機（SW-50A1S）</p> <p>[販売等期間]</p> <p>2000年10月～2002年9月 製造 2000年10月～2003年11月 輸入販売</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>フリーダイヤル 0120-004-783 受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く） http://www.samsung.com/jp/support/newsalert/39340</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2009/7/21 2013/6/10 2016/6/20	ドラム式洗濯乾燥機	LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社 【法人番号：7700150004079】	<p>[型式・機種等] LGエレクトロニクス（旧「LG電子」）製 ドラム式洗濯乾燥機 「WD-E52SP」「WD-E52WP」 [販売等期間] 2008年2月～2009年4月 [問い合わせ先等] ・LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社 ・フリーダイヤル：0120-830-094 ・受付時間：平日9:00～18:00 http://www.lg.com/jp/support/additional-support/support-notice-detail/JPNTC120806004003?noticeTitleName=WD&currentPage=1</p>
2009/8/19	ドラム式洗濯乾燥機	東芝ライフスタイル株式会社（旧東芝ホームアプライアンス株式会社）【法人番号：4010001116880】	<p>[型式・機種等] 東芝 ドラム式洗濯乾燥機 TW-853EX 製造時期：2003年1月～2007年5月 TW-853V6 製造時期：2003年1月～2007年5月 TW-S80FA 製造時期：2003年1月～2007年5月（対象製造番号：400001**～410869**） EWD-BC80A 製造時期：2003年1月～2007年5月 TW-641H 製造時期：2001年11月～2003年3月 TW-641RA1 製造時期：2001年11月～2003年3月 エレクトロラックス by 東芝 ドラム式洗濯乾燥機 EWD-Y70C 製造時期：2004年6月～2006年5月 EWD-D80A 製造時期：2004年6月～2006年5月 GE ドラム式洗濯乾燥機 KWC-9B 製造時期：2003年7月～2005年10月 KWC-9J 製造時期：2003年7月～2005年10月 無印良品（株）良品計画）ドラム式洗濯乾燥機 M-WD85A 2004年1月～2007年4月（対象製造番号：500001**～504950**） （2008年4月に新聞紙上で同様の社告を行った東芝ドラム式洗濯乾燥機TW-742EXタイプ [TW-742EX、TW-742MX、TW-742V5]についても、併せて無料点検・修理を実施している。） [製造時期] 2002/8～2003/8 [問い合わせ先等] （1）東芝、エレクトロラックス by 東芝、GE ドラム式洗濯乾燥機 ・フリーダイヤル：0120-710-508 ・受付期間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く） https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/info/090818.htm （2）無印良品 ドラム式洗濯乾燥機 ・フリーダイヤル：0120-787-508 ・受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く） http://ryohin-keikaku.jp/news/2009_0819.html</p>
2010/11/12 2012/9/21	全自動洗濯機	ハイアールジャパンセールス株式会社（旧三洋ハイアール株式会社）【法人番号：6120001100558】	<p>[型式・機種等] ・ブランド名：Haier（ハイアール） 1)商品名：2.0kg全自動洗濯機 品番：JW-Z20A 品番：BW-Z20A 品番：BW-Z20B 2)商品名：2.3kg全自動洗濯機 品番：JW-Z23A 品番：HSW-23M1 品番：HSW-233M 3)商品名：3.3kg全自動洗濯機 品番：JW-K33A（製造番号：E100001～E102484/F100001～F103036/ G100001～G100552） 4)商品名：4.5kg全自動洗濯機 品番：JW-Z45A 5)商品名：5.0kg全自動洗濯機 品番：JW-Z50A 品番：JW-Z50B 品番：JW-Z50C 品番：JW-Z50D 品番：JW-K50B（製造番号：E100001～E100800/F100001～F109280） 品番：JW-K50C（製造番号：E100001～E101440/F100001～F115840） 品番：HSW-50S1 品番：HSW-50S2 品番：HSW-50S3 品番：HSW-50S5（製造番号：2200001～2213800） [問い合わせ先等] ハイアールジャパンセールス株式会社 ・フリーダイヤル：0120-865-123 ・受付時間：09:00～17:00（土、日、祝日を除く） ・URL：http://www.haier.com/jp/support/haier_washing_machine/index.shtml</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2013/5/15	タテ型洗濯乾燥機	三洋電機株式会社 【法人番号： 7010401012149】	<p>[型式・機種等] 対象製品：タテ型洗濯乾燥機 ブランド名：三洋電機 品番：AWD-E105ZA 品番：AWD-E105ZB（製造番号：600001～604000）</p> <p>[販売等期間] 2005年9月～2009年2月</p> <p>[問い合わせ先等] タテ型洗濯乾燥機相談室 ・フリーダイヤル：0120-34-9180 ・受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く） ・URL：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/130515.html</p>
2013/7/29	全自動洗濯機	シャープ株式会社 【法人番号： 8030001087992】	<p>[型式・機種等] ES-70EE ES-C75D ES-LC80B ES-72EM ES-CL75D ES-M7K ES-73EM ES-CY75D ES-N75D ES-74EM ES-D75D ES-N7K ES-75N ES-D75E2 ES-T730V ES-80EE ES-D85E2 ES-T830V ES-82EM ES-DD8E ES-TG74V ES-83EM ES-FG74V ES-TG84V ES-84EM ES-FG84V ES-U70C ES-A70E ES-G70V6 ES-U70D ES-A80E ES-G80V6 ES-U80C ES-AG70D ES-KG73V ES-U80D ES-AG80D ES-KG83V ES-V73V6 ES-B75D ES-LC70B ES-V83V6</p> <p>[販売等期間] 1999年8月～2006年12月に製造</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-404-660 ・受付時間：09:00～18:00（月曜～土曜） 09:00～17:00（日曜／祝日） ・URL：http://www.sharp.co.jp/support/announce/es_info_130729.html</p>
2014/2/14	洗濯乾燥機	東芝ライフスタイル株式会社（旧東芝ホームアプライアンス株式会社）【法人番号：4010001116880】	<p>[製品名及び型式] 1) 東芝洗濯乾燥機 機種名：AW-70VB、AW-70VBE2、AW-80VB、AW-80VBE2 AW-70VC、AW-75VCE3、AW-80VC、AW-70VE、 AW-E470V、AW-E480V、AW-GN80VE、AW-80VE AW-70VF、AW-GN80VF、AW-80VF AW-70VG、AW-GN80VG、AW-80VG AW-70VJ、AW-70VJE7、AW-80VJE7、 AW-GN80VJ、AW-80VJ AW-70VK、AW-70VKE8、AW-GH70VK、AW-80VKE8、 AW-80VK、AW-GH80VK</p> <p>2) 無印良品洗濯乾燥機（東芝ホームアプライアンス株式会社が生産し、株式会社良品計画が販売したもの） 機種名：M-AW80A</p> <p>[販売等期間] 1) 2005年7月～2011年11月（製造期間） 2) 2010年1月～2011年4月（製造期間）</p> <p>[問い合わせ先等] 東芝洗濯乾燥機 受付センター ・フリーダイヤル：0120-056-035（無料。携帯電話からも利用可） ・URL：https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/info/140204.htm 無印良品 洗濯乾燥機 受付センター ・フリーダイヤル：0120-365-035（無料。携帯電話からも利用可） ・URL：http://ryohin-keikaku.jp/news/2014_0204.html</p> <p>・受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く）</p>